

甲府市P連だより

甲府市小中学校PTA連合会情報活動部

市P連事務局
〒400-0043 甲府市国母4丁目1-12
TEL. (055) 222-3866
FAX. (055) 222-3889
http://www.ptakofu.org
E-mail: info@ptakofu.org
印刷: 総合印刷 王文社

令和3年度 市P連活動を振り返って



甲府市小中学校PTA連合会
会長 小沢 忠雄
(北中)

今年度は、創意工夫とコミュニケーションツールとしてのPTAを掲げ、コロナ禍、安全対策を取りながら活動してきました。

2委員会(企画調査・母親)では、子供達の安全を考慮した要望書を甲府市教育委員会へ提出しました。2専門部の情報活動部では、市P連だよりを年2回発行して市P連の活動内容や各単位PTA活動の様子、各学校でのコロナ対策などを紹介し、教育研修部は11月に全体研修会を企画運営、各単Pからの出向役員の方々には、ご協力いただきありがとうございます。

来年度(令和4年度)には、第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会が控えています。市P連は1日目の第3分科会を担当します。神部冬馬さんを講師に迎え、家庭教育について歌を交えながらご講演をいただく予定です。是非、足を運んでください。

私がここ数年、市P連に携わる中で、保護者・先生方・地域の方々には、子供達の安心安全、そして成長を見守りながら日々、頑張っていたらいいなと感じています。子供達を守り育てあげて文化はPTAならではです。これから先、より多くの皆様に興味を持ってもらえるように努め、PTAというカルチャーを皆様の手で育んでいただきたいと思います。今年度一年間、市P連活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今年10月に開催される、関東ブロック山梨大会、第3分科会講師の神部冬馬さんに「海なしやまなし発!海ごみZEROプロジェクト」の活動についてうかがいました。

ご存じですか?海のごみはどこから

シンガーソングライター、ラジオパーソナリティの神部冬馬です。

私は約10年ほど前から山梨を中心に活動をさせていただいており、皆様への感謝の気持ちと共に、なにか恩返しを少しでもできないものかと日々考えておりました。そんな中で2019年に『海なしやまなし発!海ごみZEROプロジェクト』の推進リーダーとしてのお話をいただきました。

このプロジェクトの名前: なかなかインパクトがあると思いませんか? その一番の要因は「海の無い山梨の人間がどうして海のごみの心配をする必要があるのだろうか?」という疑問からでしょう。私も当初は何とも言えぬ不思議な感覚にとらわれたものです。海は日本どころか世界の人々にとつての共通の宝物なのだから、皆で意識を高めたい、海岸の清掃などをするのは当然の義務なんだろうけど、海の近くに住んでいない私たちが努力しても効果には限界があるんじゃないか?と考えてしまいますよね。

ところが、このプロジェクトに参加し、勉強をしていくにつれて衝撃の事実に出会います。海のごみの約8割が山間部や都市部から流れ着いたものである、という研究結果です。

川が海に向かっているところを想像してみてください。その川は元を辿れば山から始まり、街を通ってから海へ流れ出しています。その途中で様々なゴミが残念ながら川へ流出し、それが海ごみへと変わっていくのです。私も静岡の海岸清掃に何度か伺いましたが、ペットボトルを中心に多くの生活から出たゴミが見受けられました。(写真1) これはここに遊びに来た人のポイ捨てと考えるとしまいがちですが、実はここは一般の人には立ち入らない富士川の河口付近です。残念ながら上流から川にのって流れ着いたものの可能性が高いです。海の近くの環境を整えるお手伝いを私たちがしに行くのではなく、山間部の私たちがむしろ積極的に行動を起こさなければならぬという形に意識を変えていく必要があると感じました。

海ごみの中でも特にプラスチック製品は日光からの紫外線で分解され、マイクロプラスチックになります。それを海の生き物たちが食べ、さらにそれが私たちの食卓に並ぶ可能性があります。身近な問題として、これを読んで下さっている皆様に少しでも関心をもっていただければ幸いです。

プロジェクトでは静岡の皆様との共同海岸清掃イベント(写真2)や、海をもっと学ぶバスツアーも開催され、東海大学海洋科学博物館で津波の実験を見学(写真3)する事もありました。山梨県内では荒川の一斉清掃に参加、12月でしたが川の中まで入ってゴミを拾う作業はやりがいがありました(写真4)。その他には環境フォーラムの開催や、河川沿いを歩いてゴミの数を目視で確認し、数をチェックしていく調査などにも参加しました。

今年もコロナ禍ではありますが、できる限りのアクションを起こしていく予定となっておりますので、是非とも皆様にもご参加いただきたいと思っております。今日始めた事は10年後の結果になります。未来の希望となる子供たちのために、今すぐ行動を始めてみませんか? 具体的にどんな事ができるか、はホームページをご覧ください。
www.ybs.jp/unigomio

写真1



写真2



写真3



写真4



関東ブロック大会のお知らせ

第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会が今年10月15日(土)・16日(日)に山梨県で開催されます。

甲府市P連では15日(土)に開催される第3分科会を担当します。分科会では、「継」をテーマに神部冬馬さんを講師に迎え、『子どもたちの未来のために。～世代を超えて心を1つに…今こそ! 音楽の持つその力に～』と題し、講演会を開催いたします。各単位PTAからのご参加をお待ちしています。

2年ぶりに全体研修会を開催 田中健史朗准教授が講演

令和3年11月14日(日)
甲府市総合市民会館



令和3年11月14日(日)新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じ、2年ぶりに全体研修会を開催いたしました。入場者数に制限がある中、市P連加盟の各単位PTAから保護者・教職員約180名のご参加をいただきました。

参加者の感染予防のため、時短の為に省略できることはなるべく省略し、開会式ではご来賓からの挨拶は、事前にメッセージをいただき司会が代読、市P連広報紙コンクールの表彰式についても、コンクール受賞紙の発表のみを行い、全体研修会初の試みとして、各ご家庭でも視聴可能なライブ配信も行いました。

講演会では、山梨大学准教授田中健史朗先生を講師にお招きし、「コロナ禍における子ども・保護者のストレス(ゲーム依存いじめ・不登校)」を家庭でできるSOSサインの発見と心のケアと題して講演をいただきました。

講師の先生が父親と云う立場からお話されたこと、コロナ禍での内容等、参加者からは同感いただけただけが多く、またPTAの負担、在り方についても、率直な感想をいただき、改善を図らなければならぬ点も有ると確認できました。

◆全体研修会を終えて
コロナ禍における、家庭、学校、社会の逼迫した状況下で多くのストレスを抱えて、乗り越えなければならぬ日常と、子ども達と向き合う事の難しさを痛感している方は多いと思います。人数の制限、消毒、マスクなど日常生活してしまっている窮屈な状態を強いられながら、分散登校、休校措置など子ども達から発せられるSOSサインが分かっているにも対応できない現状、どうすることもできない問題や多くの悩みを抱えた家庭は増えてきたように感じます。

そして、この問題と毎日向き合う教職員の環境も著しく厳しい状況におかれています。昨今の教育現場に氾濫する様々な課題がある中、SOSのサインを発見して解決へ踏み出せない現状もあります。

このような時代を生き抜いていく子ども達には、子ども達自身が主体的に学ぼうとする力を育むことが求められています。子ども達に伝えたいことは、苦しい時、つらい時がこれから何度も訪れるかもしれない、そんな時よくよくよせ、失敗を経験に変えて、今を頑張っただけという事です。目標が決まり、越えなければならぬ課題ができ、「さあ頑張ってみよう」と思った瞬間がスタートだと思えます。今はまだ、定まった目標も無く、友達走りだしてしまつた焦り、悩むことがあるかもしれません。でもスタートするきっかけがいつ訪れるかはみんな色々。だから、やってみよう、がんばってみようと思つたとき、それを乗り越えたときに、たくましく、大きく成長していくのだと思えます。

全体研修会開催にあたりご尽力いただいたすべての皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

教育研修部 部長 藤原 伸一郎

コロナ禍、新たに新型コロナウイルスの変異種オミクロン株の感染が、山梨県でも急拡大しています。現在、県内の多くの小中学校では、分散登校、分割授業に切り替えられていますが、コロナ禍、学校での対応、苦慮している点、工夫している点などをうかがいました。

東小学校 校長 新田正彦 (市P連副会長)

東小学校では、感染を防ぐために、①ウイルスを持ち込まない生活(登校時の玄関での検温、手洗いや手指消毒、体調不良時は休む等)、②ウイルスを体に入れない生活(手洗い、マスク着用、目をこすらない、黙食等)、③ソーシャルディスタンスを保って3密をつくらない生活(机の配置、人数制限、時差行動、換気等)を心がけてきた。

児童にも、これらのことを意識して生活してもらえるように、見える化を図ったり、掲示物でイメージをもたせたりしている。

また、日課表を変更し、休み時間に校庭などが混み合わないようするために、半分の学年は、まず休み時間を取ってから業間学習、残りの半分は業間学習を先に行い、その後休み時間を取るようにして分散して活動している。



石田小学校 教諭 倉本慎也 (市P連副会長)

学校の授業で大切なことは、子ども一人一人が自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりする中で自分の考えを深めることだと思います。しかしコロナ禍の今、そのような当たり前にできていたことができていない状況で、どうやって子どもたちの学びを深めていくか苦慮しているところです。

GIGAスクールにより昨年度から一人一台端末を活用した授業を取り入れることで、少しずつそうした点に対して明るい兆しが見えつつあり、子どもたちも意欲的に学んでいる感じがします。しかし、一人一台端末による授業は始まったばかりで、教師自身がそれを活用して授業を行うスキルが十分備わっているとは言い難いところもあります。これから研鑽を積んでいくことも教師に課せられた課題であるように思います。



大国小学校 教頭 今井明夫 (市P連副会長)

2回目の分散登校ということで、比較的スムーズに対応することはできましたが、すぎざした教室で大きな声で話すこともできない寂しげな子供達…。クラスの友達と何かできないかということで、市から貸与されている一人一台端末を使ってみました。低学年はまだ難しいのですが、高学年では朝の会等をmeetというアプリを使い、家にいる友達の顔を確認しながら行えました。全員参加でクイズ大会や連想ゲームをしているクラスもあります。

まだ実験段階ですが、対面者とオンラインを合わせたハイブリッド授業にも挑戦しています。教室の友達の発言をうなずきながら聞くモニターに映る子供達の様子にちょっぴり可能性を感じています。



北中学校 校長 岡林健児 (市P連副会長)

「感染症予防対策を最優先として、どこまで伝統を継承できるか」コロナ禍における私たち教職員の重点キーワードだ。だが、学校開放を伴う学校行事には、様々なリスクが伴うことは言うまでもない。そのリスクをはねのけることができたのは、PTA役員の方々による大きなサポートだった。その代表的な例は学園祭体育部門だ。幸い本校の校庭は市内でも有数の広さを誇る校庭である。よって、保護者の入場制限と入場時の徹底した感染防止対策が実施できれば、十分ガイドラインに則った実施が可能であった。ただ、実現するためには教職員の手が回らないのが現実であった。そんな時「保護者の受付は終日、私たちに任せてください。そこで人数制限の確認、検温等を行います」と申し出てくれたのはPTA役員の方々だった。また、合唱祭においても同様のサポートがあり、YCC県民文化ホールでの保護者参観も可能となった。そして忘れてはならないのが、昨年3月の3学年保護者からの卒業生へのサプライズプレゼントだ。市内全中学校の修学旅行が中止となった中、その代替行事として、3学年PTA役員が発起人となり、3年生のための「富士急ハイランドで卒業を祝う会」を企画してくれたのだ。これは教職員のみでは成し得ない行事であった。



市P連広報紙コンクール開催 市P連加盟14校より応募 審査会:11月10日(水)

最優秀賞 国母小学校PTA 『国母小学校PTAだより 第89号』	優秀賞 山城小学校PTA 『山城 令和3年3月19日』	優秀賞 西中学校PTA 『青雲 第71号』

〇奨励賞 舞鶴小学校PTA
『まいづる 令和2年特別合併号』

〇奨励賞 北西中学校PTA
『かしのは 第133号』

〇特別賞 附属小学校PTA
『きりのは NO135』

企画調査委員会

『通学路等の危険箇所改善』についての要望書提出

企画調査委員会が主体となつて、各学校の通学路についてあらためて危険箇所の把握を行ったところ、市P連所属の38校から、合計で144箇所もの危険箇所の報告がありましたので、東西南北のブロックごとに集計を行い、通学路等の危険箇所を地図上にまとめ、要望書として提出しました。

未来を担う子どもたちのために、1件でも事故がなくなるよう、危険箇所の改善に向けて取り組みをしていただきたいと令和3年12月24日に数野教育長に要望書を提出しました。

(詳細についてはホームページをご覧ください。)



母親委員会

『学校給食について』の要望書提出

母親委員会では、長年継続して学校給食をはじめとする「食」や子育てのあり方について学び、取り組んでいます。

各单位PTAより要望が出されたものをまとめ、子どもたちのためにより良い学校環境であり続けられるよう、令和3年12月24日に数野教育長に要望書を提出しました。

また、要望事項については、令和4年2月末日までに文書をもつて回答いただけるようお願いしました。

(詳細についてはホームページをご覧ください。)



第1回役員選考委員会・第4回常任理事会をWEBにて開催。 2月17日(木)

今年度、企画調査委員会の事業計画の中に「新しい会議方法の準備」を挙げています。

コロナ禍、短時間ではありましたが、役員皆さんのお顔を拝見しながら会議を進めることができました。

今後の各委員会・各専門部の会議や勉強会などにも繋げていきたいと思ひます。



甲府市小中学校PTA連合会推薦

小・中学生総合保障制度 ご案内

(子ども総合保障+自転車総合保障)

PTAで
ご加入いただくと
15%
割引

山梨県自転車条例対応 (個人賠償)

ネット上で
即日
割られた!

自宅
で
学校貸与端末を
誤って破壊した!

ネット
で
ケガをした!

自宅
で
他人に
ケガをさせた!

新型コロナウイルス
感染症で入院した!

部活
で
ケガをした!

大切なお子さまを1日24時間、補償!

学校でのケガはもちろん、学校が休みの日や登下校中のケガも補償します。

「けが」の補償だけではありません これからの時代に対応した新しい補償制度です

◆ 3つのチェックポイント ◆

- 1 SNS、ネット、対人トラブルの被害にも備えられる! (一部プランのみ)
- 2 学校貸与の端末 (タブレットなど) を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じた時も補償!
- 3 自転車事故等で高額賠償事故が発生したときも補償!

※プランにより補償内容が異なります。ご加入をご希望される方は学校を通して配布される募集パンフレットを参照のうえお申し込みください。

注1) 現在市P連の保障制度にご加入の方は自動継続となりますのでお申し込みの必要はありません。

(新中学生は新規のお申し込みが必要となります。)

注2) パンフレット送付希望、保障制度に関する件は下記の取扱代理店へお問い合わせください。

株式会社 文教インシュアランス TEL 0120-740-859

(S-20426)(2023.02)

編集後記

市P連だよりを最後までご覧いただき、ありがとうございました。
昨年度に続きコロナ禍でさまざまなPTA活動が制限される中、何ができるのか模索しながらの活動をしました。
発行にあたり多くの皆さまにご理解とご協力をいただきありがとうございました。 情報活動部